

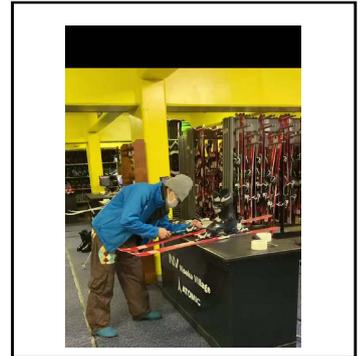
ShiriBeshi 留学体験談 No. 51



名 前：岡田拓也さん
所 属：法政大学法学部1年（※参加当時）
インターン先：ニセコビレッジスキーリゾート
参加プログラム：ウインタープログラム（11期生）

Q 1. インターン先ではどんな仕事を体験しましたか？

スキー・スノボのレンタル店に1ヶ月間勤めました。主な仕事内容はお客様の足のサイズ、身長、体重、熟練度に合わせて道具を貸し出しすることです。初心者の方はブーツを履くこともままならないので、履かせてあげてからスキーの付け方をゼロから教えてあげました。ハイレベルな方にはその日の雪のコンディションから一番滑りやすい道具を勧めたり、おすすめのコースを説明したりしました。また、お客さんは7、8割外国人だったので英語で接客しました。

**Q 2. 職場の雰囲気はどうでしたか？**

明るく、ちょうど良い緩さで自分に合っていました。僕は最年少で、スキー・スノボの知識も全くありませんでしたが、分かるまで教えてくださった方のおかげで楽しく働くことができました。同僚にはイギリスや中国の方もいて、様々な年代、バックグラウンドを持つ人たちとの会話はすごく刺激的でした。ついでに中国語も教えてもらいました。「嫁给我」は使うかどうか謎ですが。さらに従業員は無料でリフト券がもらえました。8時間の勤務後、毎日のように雪山にみんなで行き、スノボして1日を終えていました。ニセコの雪はふかふかで転んでも痛くありません。「ヒャッホー」と裏声で叫びながら滑っていました。気づいたら上達していました。うまくカーブできた時の爽快感、あれ最高すぎ。

Q 3. 寮、その他生活環境はどうでしたか？

一室に男子大学生10人と
いう地獄の鍋パ

僕が約1ヶ月滞在したメイカ寮は古い男子寮だったのですが、3周回って愛着が湧くところでした。写真のように夜は僕の部屋で鍋パーティを開いたり、外でバーベキューをしたりしました。雪が壁のように積もっていて寒かったはずですが、肉を頬張り、ビールを飲んで馬鹿騒ぎしていたので、全く寒くありませんでした。

アメリカの高校を卒業した人やアメリカの大学に通っている人、ヒッチハイクで全国を旅した人、大学生兼漁師の人（網走で一人暮らしをしており包丁を9本持っているという）、4月から小学校の先生になる人など職場もそうですが、寮でもいろいろな人と出会い、刺激合っていました。

Q 4. これから応募する人に向けたアドバイスをお願いします！

応募したあなたは正解です。ぜひ楽しんでください。応募しようか迷っている人、来ればええやん！数ある体験談の中から僕の話の引いてここまで読んでいるなんて運命ですよ！僕のインターン先は40分くらいかけて隣町に出ないと買い物ができないのに肝心のバスの本数が少なかったのが不便でした。仕事をすれば理不尽なことも起こります。また、勇気を出して応募しても職場や寮で多種多様な人と接することになるので、中には気の合わない人も出てくると思います。気分が上がらない日もあるでしょう。ですがそれすらも「学び」に変えてほしいです。僕は「自分はどういう時にどんな感情になるのか」、「どんな人とどんな会話をするのが一番好きか」を再確認することができて本当に良かったです。自分にとってこのプログラムは将来のキャリアを考える上で大切な時間となりました。さあ、旅に出よう。

☆岡田拓也さんがインターンした企業はこちら☆

会社名 ニセコビレッジスキーリゾート

URL <https://www.niseko-village.com/ja/>